

令和5年度 FDSD（高短大連携研修会・金沢工業大学合同研修会）報告書

日 時：令和5年8月24日（木）14時00分から16時15分

形 式：オンライン（zoom）

参 加：大学13人、短大14人、事務4人、高校20人、金工大17人 合計：68人

- ・ 金城大学 米島学長によるの開催挨拶

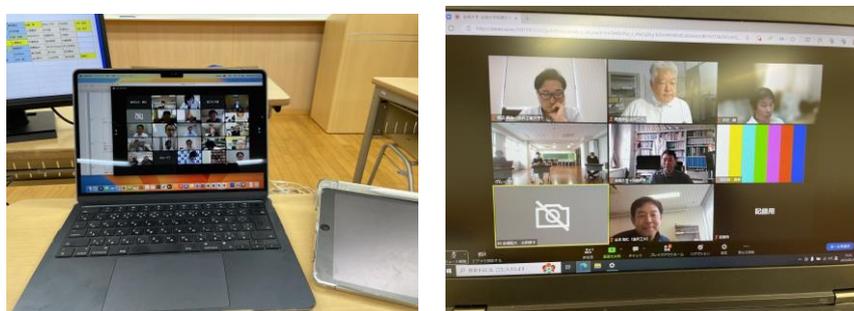
金城学園・高短大連携研修・金沢工業大学合同 FD 研修会として、「生成 AI と今後の教育」をテーマに研修会を開催した。

第1部は、金沢工業大学 工学部 情報工学科 主任・教授・AI情報技術教育センター長である山本知仁先生に「生成系 AI は大学をどのように変えていくか」と題し、生成 AI の歴史やその仕組みについて講演いただく。

第2部は、グループワークを行う。「学生にとって魅力的な学校」を ChatGPT に聞いてみよう！を第1課題とし、「AI と共存する未来の教育」を第2課題として意見交換を行った。

- ・ 金沢工業大学 大澤学長による全体講評

- ・ 金城大学短期大学部 加藤博学長による閉会挨拶



- アンケート報告（8/25 現在）

① 第1部の質問において、「参考になった」「まあまあ参考になった」を選択された方へ、

本研修会でどのようなことが参考になりましたか。

1. AI の発達の歴史、現状の課題について。
2. 人工知能の基本知識が得られたので、大変参考になりました。参考文献もたくさんご紹介頂き、とてもありがたいです。
3. あまりイメージできなかつた AI の活用と今後の未来について多少考えられた。
4. 今後更に必要となる。
5. 使い方を工夫することで業務の質向上と効率化に大いに寄与する可能性があることが分かった。
6. DALL・E2 で画像処理できることが知れました。
7. 生成 AI が持つ問題や限界について、あらためて認識できた
8. 生成系 AI について知れた
9. AI の発明と進化の説明は面白かったです。
10. 歴史から技術背景まで、素人に分かりやすく説明していただいたので。

② 第 2 部のグループワークで、「参考になった」「まあまあ参考になった」を選択された方へ、本研修会でどのようなことが参考になりましたか。

1. 近年の AI の進化について
2. 自分では全く発想になかつた考えをさまざま伺うことができました。とても貴重な機会でした。
3. 使う目的がはっきりしていれば、それぞれの工夫で効果的な使い方があることが分かった。
4. 他学の状況、皆さんの認識やご意見
5. ChatGPT が教育現場でどのように使用できるかを少し知ることができました。
6. 色々な AI の使い方を学び、役に立つと思います。
7. 大学の方々の意見が聞けた
8. どうしてもオンライン形式は一方的になりがちだが、少人数グループになることで、個々の意見を聞くことができた。

③ グループワーク①「学生にとって魅力的な学校」において、どのような内容が出ましたか。箇条書きで構いません。ご記入ください。

1. 高校・大学・短大、高校生向けか一般向けで異なつた結果が出た
2. AI による没個性的な内容のみ。
3. 条件を狭めると提示される内容は少なくなる。目新しいアイデアは得られないが、学習した内容が提示されるのでやむを得ない。整理はされ、しっかり構成されている。
 - ・ 個別性のある教育
 - ・ 活用法を教える"

4. わからないことが、わかるようになる。
5. カリキュラム、部活、進路指導など。一番記憶に残っているのはキャリアカウンセリングという言葉です。
6. 質の高い教育、充実したキャリアサポート等（ChatGPT の回答は常識的な内容でした）
7. たくさんの答えが出てきました。
8. 時間がほとんどなかった。

④ グループワーク②「AI と共存する未来の教育」において、どのような内容が出ましたか。箇条書きで構いません。ご記入ください。

1. どの養成校でも、まだ学生の活用は少なく、問題が出てくるのはこれからかもしれない。Chat GPT から出てくるアウトプットに学生のアイデンティティがないのが問題。学生が何をしたいのが明確にして活用すると良いかもしれない。いい使い方をどのように強調していくかが今後の課題である。

(ア)人間性を磨く教育も重要

2. まだ人間味ある解答になっていないが今後が楽しみである。
3. ヘルスピーリーフモデルについて、入試のための文書作成について、家庭教師的な使用について。
4. AI の有効性を認識しつつ、頼りすぎない姿勢が重要
"そもそも使わせない
利用している生徒が少ないまたはいない
適切な使用方法を模索する等"
5. 適切に使用することによる効果と不適切な使用による悪影響
6. 英語の先生として色々なアイデアが出ました。例えば生徒にわからない文法があったら、詳しく説明してもらえられます。
7. 使い方を間違えないようにしましょう。という意見で終始話されてました。
8. チャット GPT を使用するという前提で、そこに個人の考えを組み込み共存していく
9. 公衆衛生の分野において、専門用語を投げかけてテスト問題を作成する、ということを試みた。多少は正解があるものの、共存となると様々な課題があるということが分かった。

10. ・AI をどう活用する

(ア)創造性やわくわく感は感じるまでに至っていない

(イ)辛い仕事やつまらない仕事は任せていく

(ウ)無駄の学習というのは知識の幅にもなると思うが、AI が浸透すれば失敗をしないで育つことになる。そんな学生はどう成長するのか見てみたい

(エ)情報のアウトソーシングは人間の脳にどう影響を及ぼすか"

- ⑤ ご感想などがあれば、ご記入ください。(今回の質問など)
1. グループワークの時間があまりないので、あらかじめグループリーダーを指名しておいた方がよかった
 2. 複数の学校の面識のない教員同士のグループワーク、リモート形式、しかも時間が短かったので、非常に話しづらかった。AI を利用し、AI について考える良いきっかけにはなった。
 3. 今回のようなテーマで、シーズ・ニーズがやれたら面白いと思いました(個人的な意見ですみません)
 4. 今後 chatGPT の時代が更に進化してくると感じました。
 5. 今後機会があれば立場の違う人たちと議論できればと思う。
 6. ChatGPT と会話(対話)することで、まずは学生には知識の増幅のために使用させられたら良いなと思いました。また、ChatGPT をいくつか用意して自分を含めて話し合いができれば面白いなと思いました。幼少期から一緒に AGP ロボットと過ごして、自分の個性も理解した AGP ロボットがいたら面白いなと思いました。本日はありがとうございました。
 7. グループワークはやっぱり対面で実施したい
 8. グループワークをする前に、協議する事項を明確に示した方が良い。
 9. 以前 AI と chatGP 使ったことないんですが、今後使ってみようかなあと思ういます。勉強になりました。ありがとうございました。
 10. 保育士養成課程において、AI を使用する場面があるのか? また、私のように音楽を専門とする者にとっては、全く関係のないことだ! と今の時点では思っているが、すぐに対応しなければ、共存していかなければならない、という場面が来ることを予想し、今後取り入れていくことを模索していきたい。
 11. ChatGPT3.5 と 4 の違い、他の生成 AI の違いをもっと見たかった